

# The Record

vol.693  
2017  
august

# 8

# THE RECORD

*Friday*

| ジャパン・カルチャーの海外発信～新体制となった PROMIC  
| 「第 14 回東京国際ミュージック・マーケット」(14th TIMM) が開催決定



# Monthly News Digest

## Contents

Monthly News Digest..... 1

### 特集

ジャパン・カルチャーの海外発信  
～新体制となった PROMIC..... 3

「第14回東京国際ミュージック・マーケット」  
(14th TIMM) が開催決定..... 7

### 特報

文化芸術推進フォーラム  
記者会見・記念祝賀会を開催..... 8

ACA「ほんと?ホント!フェア in 千葉」開催... 9

ACA「第6回 著作権を守ろう!  
ポスターコンクール」作品募集を開始..... 9

発信者情報開示請求訴訟において  
違法アップローダーの氏名等の開示を  
命じる判決下る..... 10

『おしごと年鑑2017』に掲載..... 10

ヒットの裏側..... 11

Data File..... 12

Monthly Production Report..... 13

GOLD DISC..... 14

## 5/31

### 「VIPOアカデミー」で 畑理事・事務局長が講義

5月31日、東京都中央区の特定非営利活動法人 映像産業振興機構 (VIPO) 会議室において、「VIPO アカデミー 業界研究ベーシックコース」(第4期)の第3回セミナーが開催された。

本コースは、コンテンツ業界の若手社員が各コンテンツ業界の最新動向・展望と取組事例を学ぶことにより、ジャンルを超えたコンテンツビジネスを展開できる人材を育成することを目的として、同機構が継続開催している講座である。今回は「音楽業界完全攻略セミナー」と題し、さまざまなジャンルのコンテンツ企業から約25名の若手社員が参加した。

当協会の畑理事・事務局長が講師を務めた第1部の講義では、「レコード産業の構図と現状」と題し、レコード産業の概要やレコードビジネスの国内外の現状および課題、それに対する取り組み等について説明した。第2部の事例研究では、エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社と株式会社アミューズより、音楽ビジネス現場での取り組みや成功事例、未来に向けた展望等が紹介された。その後、受講者はいくつかのグループに分かれ、音楽無関心層に対する効果的アプローチ等のテーマについて議論を行った。

受講後のアンケートでは、他ジャンルのコンテンツ業界の現状や課題、現場の



取り組み事例などを学習することができ、非常に有意義なセミナーだった等の好評価が寄せられた。

次期ベーシックコースは今年秋期に開講される予定。

## 6/14

### キング関口台スタジオにて レコーディングスタジオ体験 プログラムを開催

6月14日、当協会は東京都文京区のキング関口台スタジオにて、中学生・高校生を対象としたレコーディングスタジオ体験プログラムを開催した。今回は、岡山県西大寺高等学校から2年生7名が参加した。

当協会からの音楽ができるまでの流れについてのレクチャー、およびキング関口台スタジオ高橋氏よりレコード会社、スタジオの歴史や設備について説明がなされた後、スタジオ内の見学に移った。プレイルームでは、ピアノの演奏・本の朗読のレコーディングを体験。コントロールルームからヘッドホン越しに指示を受けながらの作業に、生徒たちは緊張しながらも真剣に取り組んでいた。続いてコントロールルームへ移動すると、録音したばかりの音声がエンジニアの増田氏の手によって素早く調整される様子を見て、驚きの表情を浮かべていた。

日頃から音楽に親しむ生徒がほとんどだったこともあり、終了後のアンケートでは、「テレビでしか見たことのないレ



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

コーディングスタジオの風景に感動した「アーティストとその楽曲に関わる仕事を見て触れて聞くことで、1曲の中にもたくさんの魂が込められていることが分かった」との感想が寄せられた。

# 6/30

## 定時総会・第504回理事会 開催 重村会長新任

6月30日、当協会は東京都千代田区の東京會館 LEVEL21 において、定時総会および第504回理事会を開催した。当日は、平成28年度の事業報告および決算報告の審議承認が行われた（事業報告書の詳細は、7月号5～8ページ「平成28年度事業報告」に掲載）。

引き続き開催した第504回理事会では、重村博文キングレコード株式会社代表取締役会長が新たに会長に選任され、あわせて副会長等の選任も行われた。会長職、副会長および顧問の任期は2018年6月の定時総会までの1年間。

### Coming Next Artists 情報

ナタリーPower Pushで公開中のアーティスト特集記事、コラムは以下となります。是非ご覧ください。

- #1 **jealkb** (よしもとアール・アンド・シー)  
パーソナリティ / 菅野結以
- #2 **ヒグチアイ** (ティチクエンタテインメント)  
パーソナリティ / ビエール中野
- #3 **HAG** (徳間ジャパンコミュニケーションズ)  
パーソナリティ / 菅野結以
- #4 **Bentham** (ポニーキャニオン)  
パーソナリティ / 須賀健太

#### コラム #1 栗原類の音楽の楽しみ方

Coming Next Artists (音楽ナタリー内)  
<http://natalie.mu/music/pp/comingnextartists>



### 入会のご挨拶

7月1日付新入会（準会員）

この度は一般社団法人日本レコード協会の準会員として入会をご承認いただきまして誠にありがとうございます。

弊社は、「FOR YOUR RELAXING TIME」をスローガンに人々へリラックスした音楽・空間そして音楽以外を含めた商品開発・サービスを提供する事業展開を推し進めております。

「リラックス」「ヒーリング」という弊社が育んできたキーワードを基軸に弊社独自の新しいレコード会社の形を築き上げ、音楽業界の新時代に貢献できるように邁進致します。

今後は、より社会貢献ができるよう、より多くのお客様の「リラックス」を生めるように、ヒーリング音楽、環境音楽、カフェミュージック、クラシック、JAZZを中心に音楽制作やアーティスト育成を行い、同時に音楽と同居できる商品や、サービスを積極的に開発していきたく考えております。

新参者ではございますが、皆様方のご指導とご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社クロア  
代表取締役 CEO トベタ・バジュン

### ●●●会員社のお知らせ●●●

#### ■ 移転（7月31日業務開始）

株式会社ドリーミュージック・  
新住所：〒105-8482  
東京都港区虎ノ門4-1-40  
江戸見坂森ビル4F  
新電話番号：03-6452-8230（代表）

### ●●●当協会役員人事●●●

#### ■ 新任・再任（6月30日付）

【会長】

**重村 博文(新任)**

キングレコード株式会社 代表取締役会長

【副会長】

**斉藤 正明(新任)**

株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント 代表取締役社長

**林 真司(再任)**

エイバックス・エンタテインメント株式会社 取締役

**藤倉 尚(再任)**

ユニバーサルミュージック合同会社  
社長兼最高経営責任者

**村松 俊亮(再任)**

株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ  
取締役

【顧問】

**依田 巽**

株式会社ドリーミュージック・ 取締役最高顧問

**北川 直樹**

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント  
コーポレート・アドバイザー

#### ■ 退任（6月30日付）

【会長】

**斉藤 正明**

株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント 代表取締役社長

【顧問】

**田口 幸太郎**

一般社団法人日本レコード協会

なお、斉藤前会長は上記の通り副会長に就任いたしました。

# ジャパン・カルチャーの海外発信 ～新体制となった PROMIC

レコード協会では、かねてより特別委員会や常任委員会等を設置し、日本音楽の海外ライセンス促進に取り組んできたが、この7月より、当協会が実施・支援を行ってきた海外展開事業を一般財団法人音楽産業・文化振興財団（PROMIC）へ移管し、さらなる運営体制の強化を図ることとなった。

今号では、PROMICと当協会の海外展開事業の一本化を含む、PROMIC体制変更の経緯や今後の事業展開などについて、実務上の推進役を担うPROMICの桑原誠専務理事と、当協会の原康晴専務理事の対談を掲載。あわせて、本年度で14回目の開催となった「東京国際ミュージック・マーケット（TIMM）」の開催概要についても紹介する。



団体名 一般財団法人音楽産業・文化振興財団（PROMIC）  
 (英文) The Foundation for Promotion of Music Industry and Culture  
 設立 1993年3月31日  
 理事長 後藤 豊 氏（株式会社フォーライフ ミュージックエンタテインメント 代表取締役社長）

## 専務理事対談

### レコード協会事業を移管、 日本音楽の海外展開をより強力にサポート — PROMICの3つの新プロジェクト



一般財団法人 音楽産業・文化振興財団

専務理事 **桑原 誠** (左)

一般社団法人 日本レコード協会

専務理事 **原 康晴** (右)

## 新たな道へ歩み出したPROMIC

— レコード協会の海外展開事業は、PROMICの体制変更・新プロジェクト発足と軌を一にしてPROMIC事業へ移管され、さらなる深化、強化が図られることになりました。最初に、こうしたアイデアが出てきた経緯からお話しいただけますか。

桑原 PROMICは設立以来25年近く、日本音楽の海外展開をお手伝いする事業にフォーカスして取り組んできました。この間、海外の音楽市場の内容も、各社の海外事業のあり方も、音楽業界全体の動きも大きく様変わりしています。特に、ここ数年の変化のスピードは非常に速く感じます。

このような状況を踏まえ、PROMICの業界内における役割を明確にし、具体的に事業を検証していくために、2016年6月、PROMICの理事によって、事業内容の整理・再検討を行うタスクフォース委員会が設けられました。半年ほど検討を重ねた結果、PROMICの今後についてまとめた答申案が今年2月に承認されました。この答申案に沿って、平成29年度からの5カ年にわたるプロジェクトがスタートしたのです。

原 タスクフォース委員会については、当協会の理事も、PROMIC理事、タスクフォース委員会メンバーとして参加し、随時情報を共有していました。日本の音楽市場が足踏み状態となった昨今、海外へ市場を広げたいという意向は、元来、当協会内でも一致した強化ポイントの一つでしたので、PROMICのタスクフォース委員会が立ち上がる一方で、当協会内でも、海外展開事業を推進してきた海外マーケティング委員会をどうすべきか、というテーマが検討されるようになりました。

— PROMICの新プロジェクトの内容をご紹介しますのでよろしくお願いします。

桑原 PROMICの役員、賛助会員企業、諸団体のご協力を頂きながら、大きく3つに分けてプロジェクトを進めて参ります。その第1がTIMM(東京国際ミュージック・マーケット)の継続と発展です。経済産業省と共催するTIMMIは、10年以上継続し、関係企業、諸団体のご協力を頂きながら実効性の高いプロジェクトに育ってきていますが、これをさらに進化させようという取り組みです。TIMMに関しては、毎年、TIMM実行委員会として諸団体の方々にも参加してもらい、幅広い視野からのご意見を頂きながら展開を図っておりますが、それをさらに活性化させたいと考えております。

第2は、日本音楽に興味を持つ海外の人たちへ向けた情報サイトの創設です。近年、日本のアーティストの海外進出が活性化する一方で、関心を持ったメディアやバイヤーなどの海外関係者が連絡を取りたくても窓口が分からないケースが非常に多くあり、PROMICが軸になって情報提供する仕組みがほしいという意見が寄せられていました。それを受けて今回、新たにBtoB向け日本アーティストの情報サイトを作ろうと意見がまとまったのです。本プロジェクトには、株式会社ランティスの井上様に座長に立っていただき、スタート時は、海外マーケットが一番見ているアニソンに絞ったサービスとしてスタートし、段階的に全ジャンルを網羅していく予定です。

第3は、広報の充実です。TIMMも、情報サイトも、国内外の関係者に周知されないと活用も広がらず、事業としての充実を図って行くことはできません。その観点で言えば、広報の活性化がたいへんに重要となります。こちらのプロジェクトは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの大竹様に座長を受けて頂けること

### <PROMICの新プロジェクト>

#### TIMM プロジェクト

##### 委員長

一般財団法人音楽産業・文化振興財団

##### 委員

キングレコード株式会社  
ユニバーサル ミュージック合同会社  
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン  
一般社団法人コンサートプロモーターズ協会  
一般社団法人日本音楽事業者協会  
一般社団法人日本音楽出版社協会  
一般社団法人日本音楽制作者連盟  
一般社団法人日本レコード協会

#### 情報サイトプロジェクト

##### 座長

株式会社ランティス

##### 委員

エイバックス・ピクチャーズ株式会社  
キングレコード株式会社  
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント  
株式会社フライングドッグ  
株式会社ランティス  
一般社団法人日本レコード協会

#### 広報プロジェクト

##### 座長

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント

##### 委員

株式会社アミューズ  
キングレコード株式会社  
株式会社スペースシャワーネットワーク  
株式会社セブンスイーズミュージック  
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント  
ユニバーサル ミュージック合同会社  
株式会社ランティス  
一般社団法人日本レコード協会

になりました。海外で開催されている大規模マーケット等とのアライアンスの構築、有効なメディアにおける情報発信の強化、国内外の関係者とのネットワークをさらに強化、活性化等を進めながら諸事業のプレゼンスを高めていければと考えております。

## 当協会の海外事業を PROMICに移管するねらい

原 タスクフォースの答申案では、当協会の海外マーケティング委員会の機能と、PROMICの機能とを合体しようというアイデアも盛り込まれました。これまでは、お互いに連携はしつつも、基本的にはそれぞれが個々に施策に取り組んできましたが、それにより、リソースや効果も含め分散してしまうこともありました。今回の移管は、単なる効率化ではなく、1+1=2を3にも4にも増やす、プラスアルファの強化を図るねらいがあります。統合へ協議を重ね、PROMICに当協会の海外マーケティング委員会を今期予定していた諸施策も引き受けていただくかたちで事業移管し、一本化することに決まりました。

桑原 人員も含め、レコード協会のお力添えを頂きつつ、円滑な事業移管プロセスを進めています。

原 移管する事業は、具体的には、日本在住の留学生らで構成するアンバサダーや、SNS等で海外に影響力の高いインフルエンサーを起用した日本音楽のPR事業と、シンクロも含めたライセンス促進のためのビジネスマッチング事業です。アンバサダー／インフルエンサー事業では、アンバサダーが母国の若年層の音楽ニーズやライフスタイルなどをレクチャーするセミナーも行っており、統計データだけではわからない非常に興味深い内容で、現地

の生の声を聞くこともできたため、参加した業界関係者からも好評でした。ビジネスマッチング事業は、TIMMのシンクロ・セミナーや、登壇するパネラーらとのネットワーキングの実施です。

— 今後、RPOMICにおいてこれらの事業はどのような活用をお考えでしょうか。

桑原 すでにTIMMでは、ライブ出

演者を決定する際に、海外消費者の嗜好も参考にするという観点からアンバサダーに集まってもらい試聴会を実施するなど、協力体制を築いていました。彼らは日本のポップカルチャーへの関心が高く、マーケティング面で非常に参考になる意見がいただけます。

原 日本語も堪能で、情報発信力のある優秀な人材がそろっていますね。

桑原 今後は、その発信力の高さを背景に、広報の枠組みなどでも活躍の場を広げてもらえればと思っています。

一方、ビジネスマッチングのシンクロ・セミナーは、TIMMのなかでも関心の高い分野で、問い合わせも多い。TIMM開催時だけでなく、年間を通じた施策として展開できるよう、ブラッシュアップしていく考えです。

移管事業全体として、レコード協会とPROMICが合流することによるメリットを活かし、膨らませていきたいと思えます。

## 音楽産業関係者の総意を反映、確かな基盤づくりへ

原 タスクフォース委員会は、当協会の斉藤正明前会長をはじめ、日本音楽事業者協会、日本音楽制作者連盟、日本音楽出版社協会、コンサートプロモーターズ協会など、音楽産業に携わる多方面の関係者が一堂に会していました。それゆえ、今回の答申、およびそれをベースにしたPROMICの新体制、新プロジェクトは、レコード会社だけではなく、まさに音楽産業の総意を反映するものとなりました。

桑原 理事の皆様が、正面から取り組み、真剣に検討された賜物です。我々事務局は、この方針に沿って実務上の基盤を作っていかなければならないと、決意を新たにしています。

— まだ始まったばかりかとは思いますが、現時点でのプロジェクトの進捗状況はいかがでしょうか。

桑原 TIMMは、本年10月23日～25日の開催に向けて、出展募集を開始したところです。<sup>i)</sup>

原 TIMMが渋谷で開催されるようになって2年目を迎える一方、今年から合同マーケットのJCS (Japan Content



i) 取材当時。7月31日に出展募集は締め切りました。

Showcase 2017<sup>ii)</sup>の映像、アニメのマーケットが池袋に移動したことで、両会場の相互アクセスもよくなります。

桑原 アニソン情報サイトは、TIMM開催のタイミングに具体的なご紹介ができるよう、現在、基本設計を進めております。また、広報プロジェクトは、TIMM、情報サイトの進行状況に合わせて効果的な施策が行っていきけるよう、プロジェクトの委員会がスタートしたところです。TIMM、情報サイト、広報、それぞれ実際にプロジェクトの実務に関わっている委員に集まって頂いておりますので、委員のご意見を集約し、具体化させていくことが重要だと考えております。

## 日本音楽の海外展開の展望

— こうした新プロジェクトも、日本音楽を海外にどう売り込むかが大きな目的となりますが、今後の展望についてもお聞かせいただけますでしょうか。

原 今、海外市場の環境が一番整いつつあるのは、アニソンですね。日本語のオリジナル・コンテンツを現地ファンが楽しむ基盤があり、海外でのアニメ関連のフェスティバル、イベントも増えている。こうした状況でもレコードビジネスの海外展開が停滞していたのは、レーベル契約や輸出面でハードルの高いパッケージ・ビジネスが主体だったから。しかしここ数年は、急激にビジネス環境が良くなりました。サブスクリプションほか配信等の最新ビジネスが浸透してきたのも大きいですね。イベントも盛んで、アーティストの海外活動の機会も増えています。海外向けのもは放送だけではなく映像配信も旺盛で、状況の好転に拍車をかけています。我々がやらなければいけないのは、現地ファンが有料（一部広告モデル）で音楽を購入し、聴く環境を整えること。そこがアニメ本体と比べると少し遅れています。その後押しを頂けますよう、新しいPROMICの活動に期待します。

桑原 PROMICの情報サイトも、活動の一つですね。

原 アニソンがリードして、日本音楽が浸透する環境ができれば、J-POPの展開にもつながる。アーティストの海外進出も増え、成功したアーティストも出てきていますが、

今はレコード会社やアーティスト・プロダクション各社が点で活動している段階。点を面にして、「日本のアニソン」のムーブメントを作ることが重要です。そして、その波を最終的にJ-POP全体のムーブメントにすることが理想ですね。

桑原 成功事例を見ると、アーティストの力量も必要ですが、タイアップが効果的に働いた時、状況は一変します。各社それぞれ、海外の経験値や情報にも違いがある中で、PROMICは、個社の事情に応じたサポートに徹し、戦略的な展開を助け、日本音楽の厚みある市場の確立に貢献したい。そこを目標に、TIMMの改善や、情報サイト構築を進めていきます。

原 レコード各社の現場スタッフが、海外市場に触れることも大事ですね。現地へ足を運ぶとガラッと考えが変わります。例えばパリのJAPAN EXPOでは、会場への電車が日本アニメのコスプレの人でいっぱいです。ああいう光景を見ると、音楽をどう売るか、いいアイデアが湧いてくるんじゃないかと思えますね。

桑原 感動しますよね。コスプレの金髪少女が日本のコミックを原文で読んでいる。パリに限らず、アジア、アメリカそれぞれの土地でファンに会うと、日本のアニメコンテンツの凄さを実感します。

一方、ビジネス面では体制の整った日本と違い、海外では何が起るかわからない。タフさも要求されます。これらもひっくるめて、アーティスト・スタッフ全体として経験値を高めていただければと思います。国内にしながらにして、海外関係者と商談したり、多くのバイヤーにライブを見せる事が出来る。TIMMもその機会の一つとして活用してもらえれば嬉しいです。そのほか、業界の皆さまに活用していただけるプラットフォームを、しっかり組み上げていこうと思います。

原 音楽業界はオープンなので、最終的には海外展開もうまく回っていくと期待しています。皆で盛り上げていきましょう。



ii) 映像・音楽・アニメーションの国際見本市を集約し、コンテンツの垣根を越えたアジアを代表するコンテンツマーケット。東京国際映画祭 (TIFF) 併設マーケットの「TIFFCOM」、アニメーション関連を中心とした「東京国際アニメ祭 (TIAF)」、「TIMM」の合同マーケットとして開催される。JCSの開催概要についてはP7を参照。

# 「第14回東京国際ミュージック・マーケット」 (14th TIMM) が開催決定



10月23日から25日の3日間、日本音楽の海外進出を目的とした「第14回東京国際ミュージック・マーケット（14th TIMM）」の開催が決定した。今年も音楽の街・渋谷をメイン会場に、10月23日・24日に渋谷エクセルホテル東急にて商談会およびビジネス・セミナーを、23日・24日・25日の3日間、渋谷 TSUTAYA O-EAST にてショーケースライブを行うほか、25日には、池袋サンシャインシティコンベンションセンター（TIFFCOM 2017 Marketplace for film & TV in Asia / 東京国際アニメ祭（TIAF）会場）にてビジネス・セミナーやマッチング・イベントの実施を予定している。

今年は、TIFFCOM/TIAFの会場がお台場から池袋に移転することで、相互のアクセス力向上が期待されている。Japan Content Showcase (JCS) としての連携を深めるとともに、TIMMとして来場者から評価を得ている「信頼できるバイヤーの招へい」「実績の出る商談機会の創出」「ビジネス・セミナーの充実」を一層強化する。

今年のビジネス・セミナー、ショーケースライブ等の詳細は、今後TIMMオフィシャル・サイトにて随時掲載予定。  
(<https://www.timm.go.jp/jp/>)

## 第14回東京国際ミュージック・マーケット（14th TIMM）開催概要

2017年

10月 23日（月）

24日（火）

25日（水）

### 【商談マーケット & セミナー】

会場：渋谷 エクセルホテル東急

### 【JCS 合同セミナー、 マッチング・イベント（予定）】

会場：池袋サンシャインシティ  
コンベンションセンター

### 【TIMM ショーケースライブ】

会場：渋谷 TSUTAYA O-EAST

### ■ 主催

経済産業省（METI） 公益財団法人ユニジャパン（UNIJAPAN）  
一般財団法人 音楽産業・文化振興財団（PROMIC） 一般社団法人 日本動画協会（AJA）

### ■ Japan Content Showcase (JCS) 2017 (<http://www.jcs.tokyo/ja/>)

“Japan Content Showcase (JCS) 2017”は、映像・音楽・アニメーションの国際見本市を集約し、コンテンツの垣根を越えたアジアを代表するコンテンツマーケット。日本で唯一の国際映画製作者連盟公認の国際映画祭である“東京国際映画祭（TIFF）”併設マーケットの“TIFFCOM”と、音楽の国際マーケット“東京国際ミュージックマーケット（TIMM）”、アニメーション関連を中心とした“東京国際アニメ祭（TIAF）”との合同マーケットとして開催される。

### [開催概要]

	TIMM	TIFFCOM/TIAF
会期	2017年10月23日（月）～25日（水）	2017年10月24日（火）～26日（木）
商談会場	渋谷エクセルホテル東急 東京都渋谷区道玄坂 1-12-2（渋谷マークシティ内） ※ 10月23日、24日のみ	サンシャインシティ コンベンションセンター 東京都豊島区東池袋 3-1

## 文化芸術推進フォーラム 記者会見・記念祝賀会を開催

6月13日、当協会も構成団体である文化芸術推進フォーラムは、東京プリンスホテル（東京都港区）にて、「文化芸術基本法制定の動きを受けて」と題し、5月26日に文化芸術振興基本法を「文化芸術基本法」に改正する法案が衆議院に提出されたことに関する記者会見を開催した。

改正法案では、文化施策の総合的、一体的かつ効果的な推進を図るため、関係省庁間の連絡調整を行う文化芸術推進会議の設置を定めるとともに、政府に対し、文化庁の機能拡充等について、その行政組織のあり方を含め検討を加え、必要な措置を講ずることを求めている。会見には、野村萬議長をはじめ、一般社団法人日本音楽著作権協会 いではく会長、一般社団法人日本レコード協会 斉藤正明会長、協同組合日本映画監督協会 崔洋一理事長、一般社団法人日本美術家連盟 山本貞理事長、文化芸術推進フォーラム 大和滋事務局長の6名が登壇、22社25名が出席した。

冒頭、大和事務局長より、同フォーラムの概要、「五輪の年には文化省」創設キャンペーンの趣旨および文化芸術基本法制定の動きに至る経緯について説明がなされた後、各代表より、今後の文化行政への期待についての所感が述べられた。当協会斉藤会長からは、「今後、文化芸術に関する施策が、文化芸術そのものの振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られ、一体として強力に推進されることを、文化産業の立場から大いに期待する」とのコメントがあった。また、野村萬議長からは、「この度の文化芸術基本法の審議過程において、文化芸術の果たすべき役割とその重要性がしっかりと確認され、全会一致で可決承認されたことは、何にも増して得難い成果だったと高く評価する。昨年11月に開催したイベントで文化省創設に向けての運動開始を宣言したが、この度の基本法改正は、念願である文化省創設に向けての力強い推進力になるものと確信している。文化芸術は、多くの人々が力強く生きるための心のより所であり、文化省創設を粘り強く求めていきたいと思っている」とのコメントがあった。

会見に続き、文化芸術振興議員連盟創立40周年、文化芸術推進フォーラム創立15周年を祝う「文化芸術基本法の制定～文化芸術立国へ～」と題した記念祝賀会が同所で開催され、国会議員52名をはじめ、関係者372名が参加した。冒頭、「文化芸術振興議員連盟40年のあゆみ」の紹介、東京オリンピック・ファンファーレの演奏が行われた後、野村萬議長および河村建夫文化芸術振興議員連盟会長より開会の辞が述べられた。続いて、中野寛成氏（同議員連盟第5代会長）による乾杯の発声、松野博一 文部科学大臣より祝辞が述べられた。

なお、改正法案（「文化芸術振興基本法の一部を改正する法律案」）は、5月30日に衆議院、6月16日に参議院にて、全会一致で可決されている。



記念祝賀会の様子



記者会見の様子

### ●文化芸術推進フォーラム

2002年に、前年の文化芸術振興基本法成立の支援を目的とし、舞台芸術、音楽、映画等、文化芸術に関わる芸術関係団体が集い「文化芸術振興基本法推進フォーラム」として発足。2003年に名称を現在の「文化芸術推進フォーラム」へ変更し、現在は、当協会を含む17団体によって構成されている。文化芸術が社会において果たしうる役割を十二分に発揮していくことを目指し、同法の理念の浸透、啓発、政策提言などの活動を行っている。

## 特報

## Special Report

## ACA「ほんと？ホント！フェア in 千葉」開催

6月10日、千葉県柏市のセブンパークアリオ柏にて、当協会が加盟する不正商品対策協議会（ACA）主催の「ほんと？ホント！フェア in 千葉～守ろう情報セキュリティと知的財産～」が開催された。

今回で30回目を迎える本イベントは、インターネットの進展と普及に伴い、潜在かつ深刻化する知的財産の侵害問題をメインに、知的財産の保護と不正商品の排除を広く消費者に訴えかけることを目的としている。当協会は、「ホンモノ・ニセモノ比較展示」において音楽CD・DVDの真正品・模倣品の提供や、著作権教育啓発用リーフレットの配布を行った。ほかにも、参加イベントとしてクイズラリー「ホンモノはどれだ!」、「みんなで学ぼう〇×クイズ大会」が開催されたほか、ステージイベントでは、「ほんと？ホント！フェア・スペシャルLIVE」、「千葉県警察音楽隊ミニコンサート」、キャラクターマスコットの撮影会が行われた。

当日は、晴天の中で家族連れなど約1,500人が来場し、盛況のうちに終了した。



## ACA「第6回 著作権を守ろう！ポスターコンクール」作品募集を開始

当協会が加盟する不正商品対策協議会（ACA）は、全国の小・中学校を対象に著作権保護をテーマとした啓発ポスターコンクールの作品募集を開始した。締め切りは9月22日（金）。

著作権をはじめとする知的財産権の侵害は、いまや国際的な問題の一つとなっており、侵害の防止には小・中学生といった若年層から、権利保護に対する意識を持つことが重要となる。本コンクールは、ポスター制作を通じて、若年層に著作権に対する保護意識を高めてもらうことを目的として、2012年より実施されており、今回が第6回となる。詳細は、ACA サイト（<http://www.aca.gr.jp/>）を参照。



昨年度最優秀作品ポスター  
（鹿児島県鹿屋市立第一鹿屋中学校 福本ゆあさんの作品）

## 発信者情報開示請求訴訟において 違法アップローダーの氏名等の開示を命じる判決下る

6月26日、東京地方裁判所はインターネットサービスプロバイダ「ソフトバンク株式会社」に対し、ファイル共有ソフトを利用してインターネット上で大量の音楽ファイル（以下、「音源」という）を継続して違法にアップロードしている11名の氏名、住所等（以下、「発信者情報」という）を音源の権利を有する当協会会員レコード会社に開示するよう命じる判決を下した。

本件では、当協会会員レコード会社がインターネットサービスプロバイダ14社を対象に、自らが権利を有する音源をファイル共有ソフトを利用して許諾なくアップロード（公開）している者に対し、著作隣接権（送信可能化権）侵害を理由とする損害賠償請求等を行うため、「プロバイダ責任制限法」第4条1項に基づき該当者45名の氏名、住所および電子メールアドレスの開示を昨年11月より求めていた。そのうちの34名については任意に発信者情報が開示されたが、ソフトバンク株式会社が同社のサービスを利用する11名の発信者情報の開示に応じなかったため、本年4月に東京地方裁判所に発信者情報開示請求訴訟を提起していた。

当協会会員レコード会社は2013年から2016年までの4年間に、ファイル共有ソフトを利用して音源を違法にアップロードしていた109名について、インターネットサービスプロバイダに対して発信者情報の開示請求を行った。その結果、83名は訴訟によらず発信者情報が開示され、任意に開示されない場合には発信者情報の開示を命ずる判決を得て、最終的に全件発信者情報が開示されている。

当協会会員レコード会社は、開示された発信者情報に基づき、代理人弁護士を通じて違法アップローダーとの間で「今後著作権侵害をしない旨の誓約」および「損害賠償金の支払い」に関する協議を随時進めている。

当協会および当協会会員レコード会社は音楽配信市場の健全な発展、著作権法違反行為撲滅のため、今後もファイル共有ソフトを利用した権利侵害行為への対応を積極的に展開する。

## 『おしごと年鑑2017』に掲載

株式会社朝日新聞社のキャリア教育支援事業「おしごととはくぶつかん」が、2016年から発行を開始したキャリア教育用副教材『おしごと年鑑2017』を6月14日に発行した。同書籍は、キャリア教育を支援したい企業・団体と、キャリア教育授業を行いたい学校をつなぐもので、個々の「企業」に焦点を当て、具体的なお仕事の中身を紹介、解説することを目的に同社が制作するコンテンツ。学習指導要領に対応し、「社会科」や「総合的学習」等、実際の授業での使用を想定しており、全国の小中学校などへ約4万6千部が寄贈される。約100社もの様々な企業や組織が紹介されており、当協会が担当するページでは、「著作権ってなあに？」をテーマに、「音楽ができるまで」の流れと音楽業界のおしごと紹介、音楽を楽しむために知ってほしい著作権について掲載している。

なお、同冊子の紙面内容はWebサイト「おしはくキッズ」(<https://www.oshihaku.jp/kids/>)からも閲覧が可能。



『おしごと年鑑2017』表紙



日本レコード協会掲載ページ

多くの人を魅了したヒット曲は、どのように世に送り出されたのか。音楽人の苦闘が織り込まれた『ヒットの裏側』をリレー形式でひも解いていく。

## “勘違いにも似た思い込み” が道を拓く

佐藤 修 氏

社団法人日本ジャズ音楽協会 理事長

元一般社団法人日本レコード協会 会長 元株式会社ポニーキャニオン 代表取締役社長



### ❁ 「ニュー・ソウル」ジャンルを押し上げる

洋楽好きの私は日本ビクターに入り、レコードの営業畑で育ちました。販売課長を務めていたある日、ビクターでは初となる洋楽宣伝課長に命じられたんです。1972年のことでした。

当時のビクターは、洋楽が弱くレコード店から見下されている印象がありました。「ビクターはビリー・ヴォーンとニロ・ロソだけじゃないか」などと言われ、ニュー・ロックが牽引する流行の波にも乗れていなかった。私自身は、『スイングジャーナル』誌などを読みふけていたため、ジャズとアーティストの知識には自信がりましたが、営業マン時代は、洋楽を知らないよその営業マンが、売れ線アーティストを抱えているだけで大きな顔をしているのを見て口惜しい思いをしていたものです。

洋楽宣伝課長になってすぐ、媒体を廻りビクター洋楽が弱い理由を探りました。すると、どこへ行っても「ビクターはそう強くない作品をレーベル担当者が単体で売り込むから印象に乏しい」「レコード会社が一体となって押してくるものにはかなわないよ」といった話をされます。そこからヒントを得た私は、洋楽レーベルの担当者を集めて話し合い、バラバラに宣伝せずプライオリティを決めること、営業に任せず自分たちが一体となって売れることを確認しました。改めてレーベルを振り返り、勝てる資源を考えたところ、辿り着いたのがソウルだったんです。

「ニュー・ソウルのジャンルで売り出そう！」そう思ったものの、ソウルというジャンルは、それまで日本に定着していませんでした。放送を含めた媒体の人は、エルヴィス・プレスリーをはじめとした白人ロックを入口としているので興味が無い。評論家の中でも日本でニュー・ソウルを広めることは難しいとの意見が大勢を占めていました。この状況を何としても変えたい、でも、ちまちまやっていると変えられない…。悩みに悩んだ末、思い付くことは全部やりました。例えば、当時の白人ロックの牙城『ミュージック・ライフ』誌の付録として特別編集の『ニュー・ソウル新聞』をつけたり、全国のラジオ局で他社作品を含めて幅広くニュー・ソウルの番組を制作・展開したほか、スポットCM、広告…およそ売上の半分にも及び宣伝費をかけました。失敗していたらクビになっていたでしょう。

象徴的な作品は、スタイリスティックスの初アルバム「スタイリスティックス登場」です。初回のオーダーは250枚。従来はビクターでは発売しない枚数でした。でも、私たちはこの作品にニュー・ソウルのキャンペーンにふさわしい、新鮮なイメージを感じていました。「皆でがんばろう！」レーベル担当と誓い合い、全国の媒体をくまなく廻り、ディスコ・キャンペーンも展開。営業には、店舗で商品が動いたら周辺店にも置いてもらうように働きかけました。あの手この手を尽くした結果、このアルバムは25万枚売れ、その後のニュー・ソウルの発展につながりました。勘違いにも似た思い込みからはじまったものですが、やれることを全てやったことで結果が出たのです。

### ❁ 低迷期を乗り越える、“選択と集中”

その後、私はBMG、ポニーキャニオンと会社を移りました。BMGでは、B'z、福山雅治といったアーティストと契約しましたが、彼らとの出会いや仕事の進行でも、思い込みで勢いをつけることや、運の良さが必要だと実感しましたね。

ポニーキャニオンには会社の低迷期に入社したのですが、アーティスト数がすごく多いのに、抜きんでた存在がないと感じました。思い切ってアーティストを整理し、ロック系統に絞り込みました。ORIGINAL LOVE、L⇔R、エレファントカシマシ、aikoといったアーティストたちです。難しい決断でしたが、ポニーキャニオンは今後、この方向で進むという姿勢を示したんです。中でも大阪営業所が一丸で押していたaikoは、実際に渋谷のライブハウスで観たら、売りたいというピュアな気持ちの強さを感じました。そうして絞り込むことで、パワーも集中し、いい流れが出来ていく。会社の状況がどんなに良くても、それは永遠に続きません。いい時は、期待を込めて多方面に手を出すようになってしまう。多角化という聞こえはいいですが、十分なパワーがなければ、力が分散して、徐々に売れないものが増える。建て増しを続けてどうしようもなくなった建物みたいになるんです。こうなったら更地にして建て直すよりほかありません。新たな流れを作り、変化をもたらすのは、やはり勘違いにも似た思い込みですね。(談)

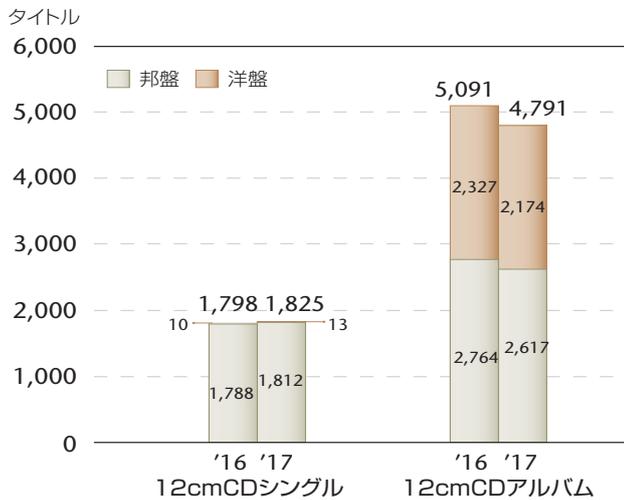
#### 担当したアーティスト

スティービー・ワンダー、ホイットニー・ヒューストン、スタイリスティックス、サザンオールスターズ、男闘呼組、B'z、福山雅治、シャ乱Q、aiko ほかに多数

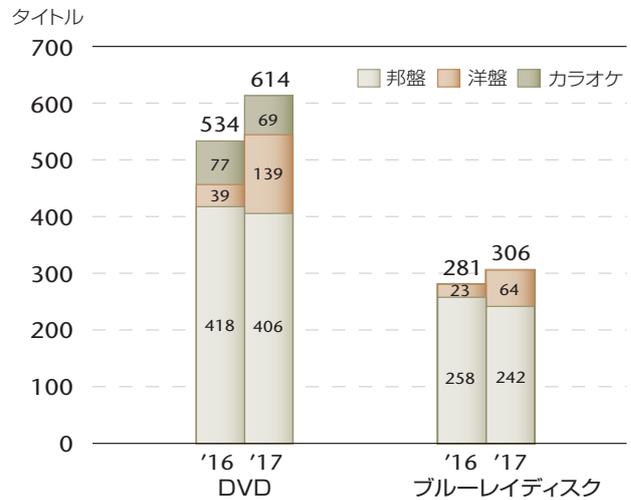
## 2017年上半期新譜数

2017年（平成29年）上半期（1～6月）販売の新譜タイトル数がまとまった。オーディオは、合計で前年同期比96%の6,820タイトルとなった。また、音楽ビデオについては、合計で前年同期比113%の920タイトルとなった。

### ● オーディオレコード新譜数



### ● 音楽ビデオ新譜数



### ● オーディオレコードジャンル別新譜数

ジャンル	12cmCD		計	アナログ	カセット		合計	
	シングル	アルバム			シングル	アルバム		
邦盤	演歌	444	222	666	8	96	1	771
	ポップス・歌謡曲	1,137	1,766	2,903	72	1	1	2,977
	軽音楽	5	72	77	0	0	0	77
	サウンドトラック	0	166	166	0	0	0	166
	民謡・純邦楽	4	30	34	0	1	0	35
	教育・教材・童謡・童話	1	88	89	0	0	0	89
	アニメーション	212	142	354	0	0	0	354
	クラシック	5	66	71	0	0	0	71
	カラオケ	0	2	2	0	0	0	2
	その他	4	63	67	0	0	0	67
邦盤計	1,812 (101%)	2,617 (95%)	4,429 (97%)	80 (148%)	98 (81%)	2 (25%)	4,609 (97%)	
洋盤	ロック・ポップス・ダンス	7	750	757	9	0	0	766
	ジャズ・フュージョン	0	387	387	2	1	1	391
	ポピュラーソング	5	164	169	11	0	0	180
	サウンドトラック	1	153	154	0	0	0	154
	クラシック	0	710	710	0	0	0	710
	その他	0	10	10	0	0	0	10
	洋盤計	13 (130%)	2,174 (93%)	2,187 (94%)	22 (52%)	1 (-)	1 (50%)	2,211 (93%)
合計	1,825 (102%)	4,791 (94%)	6,616 (96%)	102 (106%)	99 (82%)	3 (30%)	6,820 (96%)	

### ● 音楽ビデオジャンル別新譜数

ジャンル	ディスク		合計
	DVD	ブルーレイディスク	
邦盤	406	242	648
洋盤	139	64	203
カラオケ	69	0	69
合計	614 (115%)	306 (109%)	920 (113%)

備考 1. 単位：タイトル  
2. ( ) 内は対前年比

# Monthly Production Report

## 2017年6月度レコード生産実績

6月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）の生産実績は、数量で前年同月比88%の1,562万枚・巻、金額で同87%の191億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比92%の1,206万枚・巻、金額で同89%の140億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比77%の356万枚・巻、金額で同80%の50億円となっている。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		6月実績						2017年1月～2017年6月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
8cmCD シングル	邦	2	0	58%	1	0	58%	17	0	60%	12	0	60%
	洋	2	0	-	1	0	-	2	0	800%	1	0	525%
	計	4	0	122%	2	0	96%	20	0	68%	13	0	65%
12cmCD シングル	邦	3,715	31	117%	3,393	24	131%	24,705	34	97%	19,764	24	102%
	洋	3	0	40%	2	0	40%	182	0	164%	184	0	462%
	計	3,718	31	117%	3,395	24	130%	24,887	34	97%	19,948	24	102%
シングル 計	邦	3,717	31	117%	3,394	24	131%	24,722	34	97%	19,775	24	102%
	洋	5	0	72%	3	0	57%	184	0	165%	185	0	463%
	計	3,722	31	117%	3,397	24	130%	24,907	34	97%	19,960	24	102%
12cmCD アルバム	邦	6,625	55	84%	8,960	64	81%	38,947	53	92%	52,346	64	91%
	洋	1,503	12	84%	1,354	10	74%	8,638	12	85%	8,602	10	90%
	計	8,128	67	84%	10,315	74	80%	47,585	65	90%	60,948	74	91%
CD 計	邦	10,342	86	93%	12,354	88	91%	63,669	87	94%	72,121	88	94%
	洋	1,508	13	84%	1,357	10	74%	8,822	12	86%	8,787	11	92%
	計	11,851	98	92%	13,712	98	89%	72,492	99	93%	80,908	98	93%
アナログ ディスク	邦	62	1	146%	99	1	124%	267	0	187%	438	1	141%
	洋	33	0	77%	61	0	86%	209	0	119%	375	0	127%
	計	95	1	111%	160	1	106%	476	1	150%	813	1	134%
カセット テープ	邦	50	0	111%	41	0	100%	319	0	80%	269	0	79%
	洋	0	0	62%	1	0	88%	4	0	334%	3	0	232%
	計	50	0	110%	42	0	100%	323	0	81%	272	0	80%
その他	邦	12	0	68%	20	0	69%	69	0	98%	117	0	92%
	洋	49	0	199%	88	1	209%	135	0	147%	259	0	150%
	計	61	1	144%	109	1	152%	204	0	125%	376	0	125%
合計	邦	10,466	87	93%	12,515	89	91%	64,324	88	94%	72,945	89	94%
	洋	1,591	13	85%	1,507	11	78%	9,171	12	87%	9,424	11	94%
	計	12,057	100	92%	14,023	100	89%	73,495	100	93%	82,369	100	94%

### ● 音楽ビデオ

		6月実績						2017年1月～2017年6月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	2,824	79	79%	2,636	52	76%	20,705	80	96%	20,638	60	91%
	洋	64	2	176%	78	2	157%	337	1	91%	574	2	118%
	計	2,888	81	80%	2,714	54	77%	21,042	81	96%	21,212	62	91%
ブルーレイ ディスク	邦	664	19	65%	2,290	45	82%	4,703	18	94%	12,603	37	104%
	洋	11	0	130%	36	1	147%	115	0	118%	317	1	112%
	計	676	19	66%	2,327	46	83%	4,818	19	95%	12,921	38	104%
テープ・その他	邦	0	0	0%	0	0	0%	1	0	86%	1	0	82%
	洋	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
	計	0	0	0%	0	0	0%	1	0	86%	1	0	82%
合計	邦	3,488	98	76%	4,926	98	79%	25,409	98	96%	33,242	97	95%
	洋	76	2	168%	114	2	154%	452	2	96%	891	3	116%
	計	3,564	100	77%	5,040	100	80%	25,861	100	96%	34,133	100	96%

### ● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

		6月実績						2017年1月～2017年6月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計		12,057	77	92%	14,023	74	89%	73,495	74	93%	82,369	71	94%
	音楽ビデオ計	3,564	23	77%	5,040	26	80%	25,861	26	96%	34,133	29	96%
合計	邦	13,954	89	88%	17,441	91	87%	89,733	90	94%	106,187	91	94%
	洋	1,666	11	87%	1,622	9	80%	9,623	10	88%	10,315	9	96%
	計	15,620	100	88%	19,063	100	87%	99,356	100	94%	116,502	100	94%

### ● ビデオレコード（含音楽ビデオ）

		6月実績						2017年1月～2017年6月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD		5,675	79	90%	5,829	54	83%	41,740	79	98%	42,755	57	88%
ブルーレイディスク		1,472	21	83%	4,956	46	87%	10,906	21	77%	32,044	43	88%
テープ・その他		0	0	0%	0	0	0%	1	0	79%	1	0	72%
合計		7,147	100	88%	10,784	100	85%	52,647	100	93%	74,800	100	88%

### ● オーディオ/ビデオレコード合計

		6月実績						2017年1月～2017年6月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計		12,057	63	92%	14,023	57	89%	73,495	58	93%	82,369	52	94%
ビデオレコード計		7,147	37	88%	10,784	43	85%	52,647	42	93%	74,800	48	88%
合計		19,204	100	91%	24,807	100	87%	126,142	100	93%	157,169	100	91%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
 2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
 3. オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計。  
 4. 音楽ビデオ、およびビデオレコードのその他は LD、HD DVD の合計。

音楽ソフト

シングル

邦楽				
2ミリオン	願いごとの持ち腐れ	AKB48	2017.05.31	キングレコード
プラチナ	つなぐ	嵐	2017.06.28	ジェイ・ストーム
ゴールド	PICK IT UP	Kis-My-Ft2	2017.06.07	エイベックス・エンタテインメント
	おーさか☆愛・EYE・哀/Ya! Hot! Hot!	ジャニーズWEST	2017.06.21	ジャニーズ・エンタテインメント
	声明/Still Alive	B'z	2017.06.14	ビーイング

アルバム

邦楽				
ダブル・プラチナ	あの日 あの時	小田 和正	2016.04.20	ソニー・ミュージックレーベルズ (アリオラジャパン)
プラチナ	ジャム	関ジャニ∞	2017.06.28	ジェイ・ストーム (インフィニティ・レコーズ)
ゴールド	#TWICE	TWICE	2017.06.28	ワーナーミュージック・ジャパン
	All Time Best ハタモトヒロ	秦 基博	2017.06.14	ユニバーサル ミュージック

ビデオ

邦楽				
ゴールド	namie amuro LIVE STYLE 2016-2017	安室 奈美恵	2017.05.03	エイベックス・エンタテインメント
	"残響リファレンス" TOUR in YOKOHAMA ARENA	ONE OK ROCK	2012.05.30	A-Sketch

※日付は発売日

有料音楽配信

シングルトラック

邦楽				
2ミリオン	Story	AI	2006.02.01	ユニバーサル ミュージック
プラチナ	君じゃなきゃ duet with 安田奈央	KG	2011.08.31	ユニバーサル ミュージック
	未来予想図Ⅱ～VERSION'07～	DREAMS COME TRUE	2008.04.04	ユニバーサル ミュージック
	やってみよう	WANIMA	2017.03.08	ビザ・オブ・デス・レコーズ
ゴールド	ideal white	綾野 ましろ	2016.10.04	ソニー・ミュージックレーベルズ (SACRA MUSIC)
	ヒトリゴト	ClariS	2017.04.23	ソニー・ミュージックレーベルズ (SACRA MUSIC)
	祭りのあと	桑田 佳祐	2007.10.01	JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント
	Destiny	シェネル	2017.04.28	ユニバーサル ミュージック
	明日も	SHISHAMO	2017.02.22	ユニバーサル ミュージック
	見たこともない景色	菅田 将暉	2017.03.22	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
	フレンズ	ステファニー	2008.01.23	ソニー・ミュージックダイレクト
	ノンフィクション	平井 堅	2017.05.14	ソニー・ミュージックレーベルズ (アリオラジャパン)
	I need your love	Beverly	2017.04.11	エイベックス・エンタテインメント
	どこまでも ～How Far I'll Go～	モアナ (屋比久知奈)	2017.02.09	エイベックス・エンタテインメント
	ピースサイン	米津 玄師	2017.06.21	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)

洋楽

ダブル・プラチナ	グッド・タイム	アウル・シティー&カーリー・レイ・ジェブセン	2012.08.08	ユニバーサル ミュージック
ゴールド	美女と野獣	アリアナ・グランデ、ジョン・レジェンド	2017.02.03	エイベックス・エンタテインメント
	シェイプ・オブ・ユー	エド・シーラン	2017.01.16	ワーナーミュージック・ジャパン
	ラザー・ビー (feat. ジェス・グリーン)	クリーン・バンディット	2014.01.22	ワーナーミュージック・ジャパン
	リーン・オン (feat. ムー& DJ スネーク)	メジャー・レイザー	2015.03.04	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付は配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト (アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信 (着うた®、シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード数)  
 ※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰  
 ※※「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です  
 ※※※3ミリオン以降、100万毎に認定



エルマークキャラクター  
エルマーくん

**THE RECORD No.693 2017年8月号**  
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文  
編集人 原 康晴  
発行日 2017年8月10日  
発行 一般社団法人 日本レコード協会  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F  
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

## 編集後記

今号の特集ではPROMIC×RIAJの専務理事対談を実施しました。ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、同じビル・同じ階に入居している当協会とはお隣さんであります（移転してから何年も経っているにもかかわらず、壁一枚でしか隔てられていないと知ったのは、実は今年に入ってからでした…）。対談では、記事にあるPROMIC新体制の内容のほかにも、勢いを増す中国市場や、アニソンについて話が及ぶ場面もありました。個人的には、毎度お邪魔させていただいているTIMMの連携ライブも楽しみにしています！（M）

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト（URL: <http://www.riaj.or.jp/>）のお問い合わせページよりお寄せください。